

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月5日

上場会社名 セガサミーホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6460 URL <https://www.segasammy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長グループCOO (氏名) 里見 治紀
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員財務経理本部長 (氏名) 大脇 洋一 (TEL) 03-6864-2400
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	280,808	12.2	28,066	135.4	25,852	186.6	22,989	—
2019年3月期第3四半期	250,321	△4.0	11,921	△53.5	9,021	△62.9	681	△95.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 15,653百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 175百万円(△98.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	97.92	97.89
2019年3月期第3四半期	2.90	2.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	466,098	312,505	66.5
2019年3月期	464,654	305,337	65.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 309,724百万円 2019年3月期 302,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	367,000	10.7	27,000	106.4	24,000	220.2	21,000	694.7	89.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	266,229,476株	2019年3月期	266,229,476株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	31,258,139株	2019年3月期	31,493,927株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	234,787,174株	2019年3月期3Q	234,478,804株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2020年2月5日にアナリスト向けの電話会議を開催する予定です。その説明資料については、電話会議当日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前年同期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	250,321	280,808	30,486	12.2
営業利益	11,921	28,066	16,145	135.4
経常利益	9,021	25,852	16,831	186.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	681	22,989	22,308	—
	円	円	円	%
1株当たり四半期純利益	2.90	97.92	95.02	—

遊技機業界におきましては、一般財団法人保安通信協会（略称：保通協）における型式試験適合率が低水準となる一方で、規則改正に対応した遊技機の投入が徐々に進んでおります。なお、パチスロ遊技機において、日本電動式遊技機協同組合（略称：日電協）及び日本遊技機工業組合（略称：日工組）の自主規制が見直されたほか、パチンコ遊技機でも、遊技機に関する技術上の規格解釈基準が変更されるなど、遊技機開発において遊技性の幅が拡大することから、遊技機市場の活性化に期待が高まっております。

エンタテインメントコンテンツ事業を取り巻く環境としては、デジタルゲーム分野におきまして、特に国内において厳しいモバイルゲームの競争環境が続いております。パッケージゲーム分野におきましては、家庭用ゲーム機市場で現世代ゲーム機の普及が進んだことから、主に海外において、ゲームソフトの販売市場の拡大傾向が続いております。また、新しいプラットフォームやサービスの登場等により、海外におけるダウンロード販売の拡大や新たなビジネスモデルによる収益機会などに期待が高まっております。アミューズメント施設・機器市場につきましては、引き続きプライズを中心とした施設稼働となっておりますが、消費増税等の影響が懸念されます。

リゾート業界におきましては、訪日外国人数が2018年に初めて年間推計が3,000万人を突破するなど増加傾向にあり、ホテルの客室稼働率も引き続き上昇傾向にあります。また、観光立国の実現に向けて、『特定複合観光施設区域整備法』にかかる施行令等も2019年4月より順次施行されております。

このような経営環境のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は280,808百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益は28,066百万円（前年同期比135.4%増）、経常利益は25,852百万円（前年同期比186.6%増）となりました。また、当社の連結子会社であるサミー株式会社による固定資産売却益を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は22,989百万円（前年同期は純利益681百万円）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

《遊技機事業》

	前年同期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	76,160	86,253	10,092	13.3
セグメント間売上高	700	628	—	—
売上高合計	76,861	86,881	10,020	13.0
営業利益	9,601	20,757	11,155	116.2

パチスロ遊技機におきましては大型タイトル『パチスロ北斗の拳 天昇』、『パチスロ交響詩篇エウレカセブン3 HI-EVOLUTION ZERO』等の販売を行い、105千台の販売（前年同期は31千台の販売）となりました。パチンコ遊技機におきましては、『Pガオガオキング3』等の販売を行い、75千台の販売（前年同期は136千台の販売）となりました。

以上の結果、売上高は86,253百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益は20,757百万円（前年同期比116.2%増）となりました。

《エンタテインメントコンテンツ事業》

	前年同期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	166,210	186,263	20,052	12.1
セグメント間売上高	762	770	—	—
売上高合計	166,972	187,034	20,061	12.0
営業利益	10,602	16,197	5,595	52.8

デジタルゲーム分野におきましては、第2四半期までに実施したタイトル譲渡やタイトル提供等に伴う一過性収益を計上いたしましたが、運営中タイトルにつきましても概ね堅調に推移しております。また、前期に減損処理を行った影響により費用が大幅に減少しております。

パッケージゲーム分野におきましては、『ペルソナ5 ザ・ロイヤル』や『マリオ&ソニック AT 東京2020オリンピック™』、『新サクラ大戦』などの大型新作タイトルや、既存タイトルのリピート販売により、販売本数は1,933万本（前年同期は1,851万本の販売）となりました。

アミューズメント機器分野におきましては、新作タイトル『StarHorse4』の販売を行いました。

アミューズメント施設分野におきましては、プライズを中心とした施設オペレーションの実施により、国内既存店舗の売上高は前年同期比で100.7%となりました。

映像・玩具分野におきましては、映像配信の収入を計上したほか、玩具においては『マウスできせかえ！すみっぐらしパソコン』などの新製品を販売し、堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は186,263百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益は16,197百万円（前年同期比52.8%増）となりました。

《リゾート事業》

	前年同期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
外部売上高	7,949	8,290	340	4.3
セグメント間売上高	28	58	—	—
売上高合計	7,978	8,349	371	4.7
営業利益	△1,918	△2,310	△391	—

リゾート事業におきましては、『フェニックス・シーガイア・リゾート』において、九州域を中心とした宿泊プラン等施策を実施し、利用者数が堅調に伸び、前年同期比8.2%となりました。一方で、日本国内におけるIR参入に向けた費用が増加しております。

以上の結果、売上高は8,290百万円（前年同期比4.3%増）、営業損失は2,310百万円（前年同期は営業損失1,918百万円）となりました。

海外におきましては、PARADISE SEGASAMMY Co., Ltd.（当社持分法適用関連会社）が運営している韓国初のIR（統合型リゾート）『パラダイスシティ』において、国内向けプロモーションの効果等により、日本人VIPの方を中心に多くのお客様にご来場いただいております。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月26日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。詳細については、2020年2月5日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他(純額)」が3,512百万円増加し、流動負債の「その他」が491百万円及び固定負債の「その他」が3,029百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は147百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	137,425	102,056
受取手形及び売掛金	39,209	57,826
有価証券	14,500	33,500
商品及び製品	9,800	11,812
仕掛品	25,028	23,980
原材料及び貯蔵品	15,192	18,478
その他	19,565	16,689
貸倒引当金	△259	△299
流動資産合計	260,462	264,044
固定資産		
有形固定資産		
土地	21,352	21,188
その他(純額)	62,665	65,646
有形固定資産合計	84,017	86,834
無形固定資産		
のれん	6,448	6,256
その他	8,848	10,544
無形固定資産合計	15,297	16,800
投資その他の資産		
投資有価証券	73,478	63,069
その他	31,835	35,812
貸倒引当金	△438	△462
投資その他の資産合計	104,876	98,419
固定資産合計	204,191	202,054
資産合計	464,654	466,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,758	26,672
短期借入金	13,352	8,351
1年内償還予定の社債	12,500	10,000
未払法人税等	2,631	2,077
引当金	6,044	4,477
資産除去債務	562	4
その他	27,692	32,519
流動負債合計	87,542	84,102
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	40,334	36,155
退職給付に係る負債	4,019	4,146
資産除去債務	4,334	4,865
解体費用引当金	420	420
その他	12,666	13,902
固定負債合計	71,774	69,490
負債合計	159,316	153,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,953	29,953
資本剰余金	117,142	117,956
利益剰余金	201,889	215,265
自己株式	△54,168	△53,761
株主資本合計	294,816	309,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,354	10,090
繰延ヘッジ損益	—	△748
土地再評価差額金	△1,109	△1,109
為替換算調整勘定	△4,888	△7,483
退職給付に係る調整累計額	△524	△438
その他の包括利益累計額合計	7,832	311
新株予約権	912	846
非支配株主持分	1,776	1,933
純資産合計	305,337	312,505
負債純資産合計	464,654	466,098

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	250,321	280,808
売上原価	158,575	171,789
売上総利益	91,746	109,018
販売費及び一般管理費	79,825	80,952
営業利益	11,921	28,066
営業外収益		
受取利息	205	174
受取配当金	456	398
為替差益	123	—
投資事業組合運用益	364	462
複合金融商品評価益	15	—
その他	432	824
営業外収益合計	1,597	1,860
営業外費用		
支払利息	417	354
持分法による投資損失	1,637	1,824
為替差損	—	373
支払手数料	77	59
賃借料	935	84
その他	1,429	1,378
営業外費用合計	4,497	4,074
経常利益	9,021	25,852
特別利益		
固定資産売却益	58	2,909
投資有価証券売却益	493	94
関係会社清算益	1,220	—
その他	13	18
特別利益合計	1,784	3,023
特別損失		
固定資産売却損	10	0
減損損失	6,627	212
投資有価証券評価損	—	173
その他	146	118
特別損失合計	6,784	505
税金等調整前四半期純利益	4,021	28,369
法人税、住民税及び事業税	3,227	5,194
法人税等合計	3,227	5,194
四半期純利益	794	23,175
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	681	22,989
非支配株主に帰属する四半期純利益	113	185

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,195	△4,267
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	△1,535	△402
退職給付に係る調整額	403	△59
持分法適用会社に対する持分相当額	△682	△2,791
その他の包括利益合計	△618	△7,521
四半期包括利益	175	15,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62	15,468
非支配株主に係る四半期包括利益	112	184

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	遊技機事業	エンタテインメント コンテンツ事業	リゾート事業			
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	76,160	166,210	7,949	250,320	1	250,321
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	700	762	28	1,491	△1,491	—
計	76,861	166,972	7,978	251,811	△1,490	250,321
セグメント利益又は損失(△)	9,601	10,602	△1,918	18,285	△6,364	11,921

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△6,364百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,361百万円が含まれております。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	遊技機事業	エンタテインメント コンテンツ事業	リゾート事業			
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	86,253	186,263	8,290	280,806	1	280,808
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	628	770	58	1,458	△1,458	—
計	86,881	187,034	8,349	282,264	△1,456	280,808
セグメント利益又は損失(△)	20,757	16,197	△2,310	34,644	△6,578	28,066

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△6,578百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,565百万円が含まれております。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。